

第41回アイ・エス・エフ 見本市レポート

「ウェルネスで、新業態」をテーマに、多彩なイベント、実演を連日開催

ウェルネスとファッションの国際靴・雑貨見本市「第41回ISF」が9月29日～10月1日、東京・池袋サンシャインシティ文化会館で開催された。前回から会場をウェルネス、ファッション、グローバルの3ゾーンに分け、コンフォートも「足の美と健康」をトータルに提案するウェルネスという新しい打ち出しに変えた。2回目となる今回はさらに多彩な展示が行われ、ウェルネスに関連したセミナー、イベント、体験、相談なども多角的に開催、充実した内容の見本市となった。

会期3日目は「足と靴の悩み、解決します」をテーマに、一般消費者にも開放した。ここでは終日「足の美と健康」に関連したイベントを開催し、疲れない、あるいは美しい歩き方を体験してもらった。また、靴やインソールの選び方を学ぶと同時に、ブース内でのインソールを製作も実施した。

一般消費者への見本市開放は2011年春夏の靴・雑貨を紹介する場となったほか、出展メーカー・卸が消費者との接点を持つことで、新たなビジネスを構想する機会となった。

● 概要

WELLNESSとFASHIONの国際靴・雑貨見本市
第41回アイ・エス・エフ

展示品目：靴、健康関連グッズほか

出展：176社

主催・運営：エフワークス(株)

後援：対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)



◆ 出展・来場 ◆

- 出展社数は176社。内訳は国内98社、海外78社。海外はドイツ、フランス、メキシコ、中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、バングラデシュのほか、先にEPA（経済連携協定）締結に合意したインドからも初めて団体出展があった。
- 3日間の来場者数は業者4823人（前回は6.1%減）。最終日の消費者の来場は336人で、前回は28.7%増に。

◆ 多彩なウェルネス体験セミナーを実施 ◆

- 第41回ISFは「健康を増進し、スタイリッシュで快適に暮らす」ライフスタイルを提案するウェルネス関連の靴や機能ソックス、インソール、フットケア商品、機器の展示ブースが拡充した。同時にセミナーやファッションショー、実演など多彩なメニューで連日イベントを開催、ウェルネス商品を体感すると同時に、接客方法のノウハウを披露した。
- 今見本市で行われたイベント、実演は次の通り。

1. 接客で使えるウォーキング

- モデルの体型管理を手掛ける小倉義人氏が提案する下半身からのボディコントロールを、立ち方、歩き方から披露した「体幹立ち&ウォーキング」、健康ウォーキング指導士の西田富美子さんによる、健康を維持するための基本的な「健康ウォーキングと運動後の脚ケア」、元ミス日本の長坂靖子さんが、正しい姿勢で美しい歩き方を指導する「美人スタイルウォーキング」と、多彩なウォーキングの実演が行われた。



① 体幹を意識した立ち方、歩き方を披露する小倉義人氏



② 消費者も参加し、健康ウォーキング指導士の西田富美子さんの指導を受ける

2. 売場で簡単にできるフットケア

- ハイヒールをはく女性が骨格のズレから生じる足の痛みを、売場で一時的に解消できる「足矯正」を理学療法の蒲生和芳准教授が指導、同時に青竹踏みの正しい使い方を教えた。また、ポドロジースペシャリストの大岩久恵さんが、足のツボを押すことで「健康になれるフットケア」の方法を披露、接客にも使えるノウハウを指導した。



③ 元ミス日本の長坂靖子さんによる美人スタイルウォーキング

3. インソール体験企画

- 阿部薫准教授による「インソールの正しい選び方」の実演と同じブースでは、自身で作る「体験！ Myインソール制作」も行われ、出来上がったインソールははいてきた靴に装着し、はきごこちの違いを体感した。またIVOジャパンのブースでは「足計測ノウハウの実演」が行われた。
- さらに各ブースでは、足と靴のなんでも相談「足ドック」が開設され、足型計測、フットケア、インソール、マッサージ、靴選びなどの相談を受け付けた。またFSI&日本フットケア技術協会のブースでは連日、来場者のフットケアを行い、健康的な生活を提案するウェルネスへの取り組みを知らせた。
- イベントスペース横では出展各社の高機能インソールやソックスを展示し、展示前のフロアに置かれたインソールに足を載せることではきごこちを実感してもらい、機能性をアピールした。



④ 連日、途切れることなく人を集めたフットケアの実演ブース



⑤ 毎回好評な阿部薫准教授のインソールの選び方セミナー



⑥ 正しい靴の選び方を教えるIVOジャパンの関根孝夫氏



⑦ 村井のブース内で行われた「体験！ Myインソール制作」で機能インソールを作る消費者

4. レッグウエア・ファッションショー

- 会場に設けられたステージでは、機能性も備えたオシャレなレッグウエアを使い、靴とのコーディネートをファッションショーで見せるコーディネート・ファッションショーを会期中、3ステージ行った。靴とレッグウエアのコーディネートにスポットを当てたファッションショーは珍しく、多くの来場者に注目された。ショー終了後には毎回、来場者20名にショーで紹介したレッグウエアをプレゼントする企画も行われた。



⑧ 会場内ステージで行われた靴とレッグウエアのコーディネート・ファッションショー



⑨

会場には出展社の商品を展示した「ISFいち押しシューズコレクション」コーナーを設け、靴がプレゼントされる人気投票を行った。これは会期中だけでなく、10月18日～11月21日までネットでの投票も受け付け、12月1日に抽選、発表される。また会場での人気投票ではアンケートも行われ、回答者にはウェルネス雑貨がプレゼントされた。

◆見本市で提案された2011年春夏シューズ・トレンド◆

◎レディス

ナチュラルな雰囲気のカジュアルが主流となる一方、エレガンスの復調がより顕著に表れた。また商品に関わらずアウトドアテイストの取り入れも依然として目立つ。売場は数シーズン前までのカジュアル一辺倒とは大きく様相を変え、テイストやフォルム、ヒール高などの幅が多種多様に登場しそう。

スタイリッシュ・コンフォートも機能面を維持しつつ、これまで以上にトレンド性を取り入れたデザインが増えている。また靴市場をけん引しているローリングソールは、春夏らしい色や素材のサンダルタイプが人気。

- カラー : ナチュラルなカラー、白やアイボリーや中間色が多い。癒しとパワーを兼ね備えた印象のビタミンカラーも目立つ。
- 素材 : ヌバックやサマースエードなど、柔らかな風合いの起毛素材が多数登場。優しい色合いとつや感のソフトエナメルも取り入れられている。
- ディテール: 春夏ということもあり、パンチングや大きめの穴などを施したアッパーのデザインが多い。透け感あるレースで見た目の涼やかさを出したものも。サマーブーツは見た目も実際も涼しいタイプが多い。



L①「ソーナイス」(エルピーティ)



L②「ラモードロゼ」(マミアン)



L③「フーダ」(フーダジャパン)



L④「Z019」(シノハラシューズ)



L⑤「シュリットクラッセ」(シュリット)



L⑥「アルシュ」(アルシュ)



L⑦「フィンコンフォート・フィンナミック」
(シアンインターナショナル)



L⑧「ダヴ」(ファッションリンク)



L⑥「セムラー」(バン産商)



L⑥「バイン」(バイン)

◎メンズ

大人感覚で落ち着きのあるカジュアルが増えた。丸く厚みのあるラスト使いにビブラムソール、登山靴のハトメなど、ここ数シーズン人気のアウトドアやトラッドの要素が程よく取り入れられている。色もダークブラウンやグレーが多く控えめテイスト。ビジネスはクラシックなデザインに、底材や中敷で機能性を追求する商品が目立つ。

- カラー：ダークブラウンやグレーなどナチュラルなカラーが主力。
- 素材：肉厚ソフトなスムースが中心。ヌバックやスエードなどソフトな起毛素材も見られる。
- ディテール：アウトドアテイストの編み上げやハードなソールがポイント。登山靴のハトメもアウトドアイメージ。



M①「インブルーマイセルフ」
(シブヤ製靴)



M②「インブルーマイセルフ」
(シブヤ製靴)



M③「1957」(オリエンタルシューズ)



M④「ファロル」(シバ製靴)



M⑤「ファロル」(シバ製靴)



M⑥「テキサスビレッジ」
(サンダー商事)



M⑦「テキサスビレッジ」
(サンダー商事)



M⑧「アルファキュービック」
(オリエンタルシューズ)

次回開催概要

名 称：第42回アイ・エス・エフ
日 時：2011年4月12日(火)～14日(木)
場 所：東京・池袋サンシャインシティ文化会館(2、3F)
主催・運営：エフ ワークス(株)
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-28-5
TEL. 03-5825-3155 FAX. 03-5825-3158
<http://www.f-works.com/> isf@f-works.com